

# 大月隆司議員

人口減少・少子高齢化社会に対応したまちづくりについて

議員 深刻な人口減少・少子高齢化の問題に直面するが、まちづくりの考え方と今後の展望についてたずねる。

市長 長・短期の施策の展開において、適正な規模と費用対効果を考えながら、計画・実施していきたい。

議員 高齢者の家庭内での事故が非常に多い。住環境の整備が必要になってくるが、どのような取り組みをしていくのか。

市長 まちづくり協議会等を通じ地域が活性化するような取り組みを考えている。

議員 低炭素社会への取り組みについて

議員 ①クリーン都市笠岡のイメージを創出するため

に、低炭素都市への取り組みを行ってはどうか。

②再生可能エネルギーの普及促進に対する補助拡大はできないか。

市長 ①今後、環境基本計

画等により数値目標を掲げ、具体的な施策を行う。

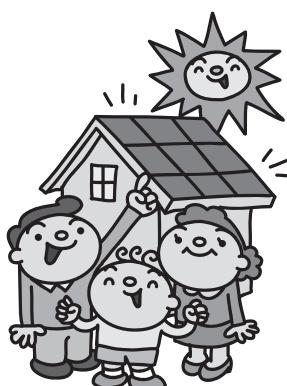
②現在のところ考えていないが、今後、笠岡市地球温暖化対策実行計画や、新エネルギー・ビジネスの見直しの際の検討課題としたい。

## 防災体制強化について

### 妹尾博之議員

今後の市政展開について

### 災害体制について



り組んでいけるよう、市民や地域の意見を幅広く取り入れ、充実させていきたい。当たり、より一層市政への関心を持っていただけるよう、市民との対話を重視するともに、市民に開かれたクリーンで公平・公正な行政運営を行い、信頼されるリーダーとして期待に応えていきたい。

議員 市民に開かれた市政に対するためには、具体的にどのような方法を行っていくのか。

市長 積極的な情報公開と対話の2つを念頭に置くことを考えている。

議員 今回の市長選は大変低い投票率であり、3割強の無投票者がいたこと、そして得票差が1,589票と僅差であり多くの反対票があつたことを踏まえ、これからどういう市政を市民のために行っていくのかをたずねる。

議員 防災の基本は自助・共助・公助と言われるが、正しい情報が適時に入手できなければ適切な対応ができるものとして重要であると考えている。今後、それぞれが防災の主役として取

市長 先の市長選の投票結果については、重く受けとめ、これから市政を担うに及促進に対する補助拡大はできないか。

②コスト面などを考慮し、今後検討していきたい。

市長 自助・共助の啓発については、自主防災組織を始めとする各種団体を対象として積極的に地域密着型訓練という形で展開をしている。

災害時における情報提供の対策については、現在各メディア・メール等により緊急情報を伝えている。

島しょ部担当職員を派遣することになつていて、これは今後とも実施していくと考へている。

